

地域社会と連携しながら継続的に環境美化に取り組む全国の小・中学校を表彰

「第20回 環境美化教育優良校等表彰事業」 最優秀校4校ほか決定

【最優秀校】

文部科学大臣賞	高知県	高知市立青柳中学校 <small>あおやぎ</small>
農林水産大臣賞	岩手県	洋野町立角浜小学校 <small>ひろの かどのはま</small>
環境大臣賞	長野県	安曇野市立豊科南小学校 <small>あづみの とよしな</small>
協会会長賞	石川県	津幡町立条南小学校 <small>つばた じょうなん</small>

清涼飲料・ビールなど飲料業界6団体で構成する、公益社団法人食品容器環境美化協会（略称：食環協、会長：柴田 暢雄）では、本年度の「環境美化教育優良校等表彰事業」において、都道府県より推薦を受けた全国の小・中学校の中から最優秀校4校、優秀校6校、優良校25校を選定し、表彰いたします。

この表彰事業は、独創的な環境美化教育に継続的かつ熱心に取り組み、地域社会と連携しながら「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践することにより、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校を選出し表彰するものです。

最優秀校4校は、都道府県の推薦によって選出された中から審査委員会による厳正な審査を経て、「文部科学大臣賞」「農林水産大臣賞」「環境大臣賞」「協会会長賞」にそれぞれ決定いたしました。なお、小学校と中学校の部門は、区分せずに表彰しております。

受賞校の中でもとりわけ特色のある活動を行っているのが、地域を流れる農業用水路「拾ヶ堰（じっかせぎ）」の美化活動を行っている長野県安曇野市立豊科南小学校です。ペットボトルやビニール袋などが浮いている拾ヶ堰をきれいにしようと児童がごみ拾い活動を自主的に企画し実施、その姿に触発された地域住民も参加して行う一大行事に発展しました。児童が自ら考えて発信しながら解決する取り組みが、地域を動かし、住民を巻き込んでいく姿勢や教育のあり方が高く評価されました。

他の最優秀校3校においても、地域の特性に応じた環境を守るために、児童・生徒が先頭に立って住民と連携しながら美化活動やリサイクル活動に励む姿が際立っていました。

また、海洋汚染を防ぐために海に流れ出る前にごみを回収しようと、自分たちができることに挑戦する活動を通じて、持続可能な開発目標（SDGs）「海の豊かさを守ろう」の意識が着実に高まっているのも本年度の受賞校の特徴です。

表彰式は2020年1月31日（金）、浅草の下町界隈や東京スカイツリーを一望する「浅草ビューホテル」（東京都台東区）にて、最優秀校4校を招いて開催いたします。

式典では、各受賞校の美化活動の様子をインタビュー映像やスライドで紹介しながら、生き生きと取り組む児童・生徒の前向きな姿や教師の思い、サポートする地域住民の熱意をお伝えしてまいります。



公益社団法人食品容器環境美化協会は、1973年に設立されて以来46年の間、飲料容器の散乱防止とリサイクル推進の啓発を中心とした環境美化の推進に努めてまいりました。日本の環境が美しくなることを目的として、「環境教育の支援」、「ポイ捨て防止の啓発」、ならびに「アダプト・プログラムの推進」などの事業を展開しています。

「環境美化教育優良校等への表彰」は、「環境美化教育の助長」及び「地域の環境美化の啓発」を目的に2000年度から開始し、本年度が20回目となります。

この間、地域の環境美化やリサイクル推進に積極的に取り組む小・中学校を表彰し、当該学校の児童・生徒の活動を励ますとともに、その活動を広く紹介してきました。同時に、環境美化教育の全国における活性化にも寄与してまいりました。

環境教育への取り組みが年々重要になる中で、本年度も全国の都道府県から、独創的な環境美化教育に熱心に取り組む、校内だけでなく地域社会と連携して環境美化に大きく貢献する活動の実践に努めている小・中学校が多数推薦されました。これら各校の活動内容を、審査委員会において厳正に審査した結果、このたび4校が最優秀校、6校が優秀校、25校が優良校として選定され、表彰の運びとなったものです。

■本年度の各都道府県からの推薦状況

第20回は、環境美化につながる散乱防止活動またはリサイクル推進活動を継続している小学校・中学校から都道府県が1校を推薦する方式

	合計
推薦があった都道府県数	35
推薦校数	35

■本年度審査結果

審査委員会による審査の結果、受賞校を以下の通り決定

	受賞校数
最優秀校	4
優秀校	6
優良校	25

最優秀校に選ばれた4校の活動概要およびその他各賞の受賞校は以下の通りです。

■最優秀校の活動概要（詳細は P7 以降参照）

散乱防止活動またはリサイクル推進活動	
文部科学大臣賞	<p>高知県 高知市立青柳中学校</p> <p>市が主催する浦戸湾・七河川の一斉清掃活動に参加した生徒の環境意識が高まり、住民とともに校区にある「絶海池(たるみいけ)クリーン大作戦」を年 2 回実施している。池に浮いているゴミや、目に見えない池の底に溜まったごみを回収した生徒は、自分たちの住む地域をきれいにしたいという意識が向上。地域の公民館長会が実施している「濱口雄幸生家記念館」の清掃活動にも取り組みながら達成感を得ている。活動に向けては、地域の「開かれた学校づくり推進委員会」で、住民と生徒が意見交換しながら計画準備に当たる。こうした協働で行う美化活動を機に、交流が徐々に深化し、朝の挨拶運動や祭りなどの行事、防災活動なども連携して取り組むようになり、地域の活性化につながっている。地区民生委員児童委員協議会や社会福祉協議会からは、掃除用具が寄付されるなど、生徒に期待を寄せる住民も多く、手応えを実感した生徒の自己有用感が高まっている。</p>
農林水産大臣賞	<p>岩手県 洋野町立角浜小学校</p> <p>地域の大切な資源である海の環境を守ろうと、1953 年頃から継続して行っている角浜漁港付近の清掃活動。今年で 67 年目を迎える伝統的な取り組みで、海岸に散乱している漂着ごみを回収するとともに、角浜地域特産のウニの主食であるコンブを食べるツブ貝の駆除も行っている。清掃の際は、はじめに種市漁業協同組合角浜生産部に勤める専門家から、特産のウニの生態や東日本大震災の津波被害などについて広く学びながら、環境保全の意識を高めているのが最大の特徴だ。住民に深く浸透し、地域の誇りにもなっているこの取り組みは、環境美化にとどまらず、児童にとっては郷土を愛する心を育む貴重な活動となり、教科等の枠を超えた横断的な学びとしても注目されている。今年度は、海から離れた山間部に位置する洋野町立林郷小学校と合同で清掃活動を実施、海洋教育を通じた交流に発展している。アルミ缶回収活動も盛んで、住民の協力体制も整う。</p>
環境大臣賞	<p>長野県 安曇野市立豊科南小学校</p> <p>同校近くを流れる農業用水路「拾ヶ堰(じっかせぎ)」の清掃活動に 2000 年から取り組む。きっかけは、拾ヶ堰とつながっている学校ビオトープに、毎日のように流れてくるごみの多さだった。児童は上流の拾ヶ堰をきれいにしようとしてクリーン大作戦を開始。回を重ねるにつれ、地域に広く認知されるようになり、PTAはもとより、地域住民や県拾ヶ堰土地改良区職員や市職員が多数参加するなど、地域を巻き込む行事へと発展した。「学校発、地域に関わる活動」と住民からは高評価、以前は空き缶やペットボトルの他に自転車などの粗大ごみも放置されていたが、現在は目に見えてごみの量が減少している。2016 年、拾ヶ堰は「世界かんがい施設遺産」に登録された。クリーン大作戦を通して、景観を維持する大切さを学んだ児童は、持続可能な開発目標 (SDGs) にも着目。川が海につながっていることを理解し、海洋汚染を防ぐために自分たちが出来ることに挑もうとしている。</p>
協会会長賞	<p>石川県 津幡町立条南小学校</p> <p>同校に隣接する「中条公園」と「河北潟」は、住民に親しまれており、児童にとっても身近な場所だ。とくに、毎夏レガッタ大会が開催される河北潟は、高学年がチームを組んで参加する会場でもある。そうした地域の貴重な自然環境等に着目し、学年に応じたさまざまな活動を行っている。自分たちに出来ることは何かを考え、思考力や実践力を養う目的で環境学習を開始。中条公園では、主に 2、4 年生がごみ拾い活動を通じて地域の自然を守る気持ちを育てている。河北潟においては、5 年生が「河北潟調査隊」を結成し、干拓の歴史を学びつつ、生き物や水質、水の管理などテーマを各自設定、調査した結果を発表している。6 年生は、未来の暮らしを見据え、「親子資源回収」に取り組む。校区内の家庭から回収した資源ごみの分別と、トラックへの積み込みを住民と協力して実施。これらの取り組みを通じ、ポイ捨てごみを自発的に拾う児童が増えるなど、美化意識が磨かれている。</p>

■その他受賞校:

<優秀校> 協会会長賞 6校

山形県	おぐに かのみず 小国町立叶水小中学校	新潟県	長岡市立川口小学校
福井県	きたがた あわら市北潟小学校	奈良県	つきがせ 奈良市立月ヶ瀬中学校
山口県	ひかり しまた 光市立島田中学校	福岡県	たがわ いた 田川市立伊田小学校

<優良校> 協会会長賞 25校

青森県	しもきりだ 十和田市立下切田小学校	秋田県	おおだて せいしょう 大館市立成章中学校
宮城県	石巻市立石巻中学校	福島県	いわき市立湯本第一中学校
茨城県	ひらいそ ひたちなか市立平磯中学校	群馬県	たたら 館林市立多々良中学校
埼玉県	にしちょう 草加市立西町小学校	千葉県	市川市立新浜小学校
東京都	東村山市立東村山第六中学校	富山県	おやべ つざわ 小矢部市立津沢中学校
山梨県	えんざん 甲州市立塩山北中学校	静岡県	沼津市立沼津高等学校中等部
岐阜県	いわの だ 岐阜市立岩野田北小学校	愛知県	もりやま 名古屋市立守山中学校
三重県	四日市市立港中学校	大阪府	ねやがわ 寝屋川市立第五中学校区
兵庫県	にしわき にしわき 西脇市立西脇中学校	和歌山県	みはまちょうりつ 美浜町立松原小学校
徳島県	あなん よしい 阿南市立吉井小学校	愛媛県	たくなん 松山市立拓南中学校
佐賀県	たく とうげんしょうしゃとうぶ 多久市立東原庵舎東部校	長崎県	みなみしまばら 南島原市立有馬小学校
大分県	かんざき 大分市立神崎小学校	宮崎県	みまた みやむら 三股町立宮村小学校
鹿児島県	ひおき いざくだ 日置市立伊作田小学校		

■表彰授与

- 最優秀校4校の表彰式は、下記にて行います。

2020年1月31日(金) 15:30~17:10 (受付 14:00~)

浅草ビューホテル 3階「祥雲の間」

東京都台東区西浅草3-17-1 電話 03-3847-1111

<http://www.viewhotels.co.jp/asakusa/> *つくばエクスプレス「浅草駅」直結

懇談会 17:30~19:00 28階「ベルヴェデール」

- 優秀校ならびに優良校については、後日、各都道府県において表彰状等を伝達します。

環境美化教育優良校等表彰事業の概要

■主催：公益社団法人 食品容器環境美化協会

■後援：文部科学省、農林水産省、環境省

■表彰の対象：環境美化教育に独創的・継続的かつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化」または「飲料あき容器等のリサイクル」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校、およびこれに準ずる小・中学生の団体（以下「小・中学校」）

■表彰：

最優秀校	文部科学大臣賞	1校
最優秀校	農林水産大臣賞	1校
最優秀校	環境大臣賞	1校
最優秀校	協会会長賞	1校

・賞状と副賞を贈呈

・上記の他、「優秀校」、「優良校」に対し、協会会長賞として賞状と副賞を贈呈

■推薦・審査：

【最優秀校・優秀校・優良校】

都道府県の環境整備主管部局、または教育主管部局が推薦する小・中学校を審査委員会で審査

■審査委員：

[審査委員長]	小澤 紀美子	東京学芸大学名誉教授・東海大学大学院客員教授
[審査委員]	小澤 孝行	公益財団法人 日本環境協会 専務理事
	國分 重隆	全国小中学校環境教育研究会 顧問 東京都教職員研修センター研修部教育開発課 教授
	小島 あずさ	一般社団法人 JEAN 事務局長・副代表理事
	堀田 肇	公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 業務執行理事 企画広報部長
	嵐 理恵子	公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員 日本コカ・コーラ株式会社 広報・パブリックアフェアーズ本部 渉外グループ シニアマネージャー
	佐瀬 秀明	公益社団法人 食品容器環境美化協会 企画委員 サッポロビール株式会社 総務部 マネージャー

(敬称略)

公益社団法人食品容器環境美化協会の概要

1973年（昭和48年） 任意団体「食品容器環境美化協議会」として発足
1982年（昭和57年） 社団法人「食品容器環境美化協会」（農林水産大臣設立認可）
設立以来46年間、飲料容器の散乱防止など国土の環境美化の推進に努め、公共の福祉の増進に資するため、各種啓発活動を行っている公益法人です。
2011年（平成23年） 公益社団法人「食品容器環境美化協会」（内閣府認可）
公益法人制度の改革に伴い、内閣総理大臣から公益社団法人の認定を受け、「公益社団法人 食品容器環境美化協会」として再発足しました。

主な活動：○新しいまち美化手法「アダプト・プログラム」の普及と推進活動
○小・中学校でのパソコン学習支援サイト「まち美化キッズ」の運営、
教育者向け「環境美化 学習のガイド」の制作提供等の次世代への
環境教育支援 <https://www.kankyobika.or.jp/kids/>
○市民団体等への環境美化活動の支援
○「ポイ捨て防止」啓発活動
○散乱ごみ対策の調査・研究 等

構成団体：一般社団法人 全国清涼飲料連合会 <http://www.j-sda.or.jp/>
清涼飲料メーカーなど企業会員48会員82社、組合会員19会員160社、
賛助会員145社からなる社団法人
一般社団法人 全国トマト工業会 <http://www.japan-tomato.or.jp/>
トマト加工製品メーカーなど35社からなる社団法人
一般社団法人 日本果汁協会 <http://www.kaju-kyo.ecnet.jp/>
果実飲料メーカーなど122会員からなる社団法人
日本コーヒー飲料協会
コーヒー飲料メーカーなど19会員からなる任意団体
コカ・コーラ協会
日本コカ・コーラ社と全国のコカ・コーラボトリング社からなる任意団体
ビール酒造組合 <http://www.brewers.or.jp/>
サントリー、アサヒ、キリン、サッポロ、オリオンのビール5社による特別認可法人

■本件に関するお問い合わせ先■

公益社団法人食品容器環境美化協会（食環協）

〒108-0023 東京都港区芝浦 2-15-16 田町 K.S ビル 6 階

TEL. 03-5439-5121 FAX. 03-5476-2883

ホームページ <https://www.kankyobika.or.jp/>